

『アルゴリズムの基本』 正誤表

【第1版1刷】をお持ちの方

▼p. 38 下から14行目

「定数倍以上」を「定数倍以下」に直す

▼p. 38 下から5行目

「定数倍以下」を「定数倍以上」に直す

▼p. 52 図3-3の下の説明

「ステップ2のループは、 p が r よりも大きくなったからといって必ずしも終了しない。ステップ2Bでは、 $A[q]$ が x と等しく、 A のなかの x が含まれているインデックスとして q を返すので、ループを終了できる。」を

「ステップ2のループは、 p が r よりも大きくなったのが原因で終了するとは必ずしもいえない。 $A[q]$ が x に等しいのがわかり、 x が存在する A のインデックスとして q を返すことにより、ループはステップ2Bで終了する可能性がある。」に直す

▼p. 54 下から6行目

「半分にしていく。」のあとに「実行時間は $\Theta(\lg n)$ である。」を挿入する

▼p. 54 下から5行目

「 $\Theta(\lg n)$ 」を「 $\Theta(1)$ 」に直す

▼p. 56 図3-6の下から1行目

「C.」以下を下から3行目の「B.」と同じ位置にずらす

▼p. 58 下から11行目

「実際の要素数がいくつでも、内部ループは $\Theta(n^2)$ の時間で」を

「実際の要素の値にかかわらず、内部ループは $\Theta(n^2)$ 回」に直す

▼p. 64 15行目

「たとえば」を「具体的には」に直す

▼p. 64 16~17行目

「動く（そのため、これらの要素はそれぞれ $n-1$ までの範囲で移動する）場合、」を

「動く可能性があり（そのため、これらの要素はそれぞれ最大 $n-1$ まで離れた位置に移送する可能性がある）、かつ残りの $n-1$ （エル）個の要素が最大 k だけしか位置を移動する可能性がないならば、」に直す

▼p. 71 下から 3 行目以降

「。あとは、左の山にある本を順に残りのスロットに移していけばよい。これで、スロット 9 から 14 までのすべての本がソートされた」を削除する

▼p. 82 2 行目

「右端」を「左端」に直す

▼p. 85 下から 12 行目

「わかっている」を「わかる」に直す

▼p. 115 8 行目

「0 なら辺 (u, v) が存在する」を「0 なら辺 (u, v) が存在しない」に直す